

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」 コミ協別計画の取り組み状況について

資料 3

コミ協名: 西内野コミュニティ協議会

<基本目標1> 私たちが支え合い、助け合う地域づくり

平成 28年 6月 28日 作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H27)	成果・課題等
○コミュニティセンターや自治会館・町内会館、空き家などを活用し、気軽に集まれる交流の場の開設	老人クラブ、婦人部等と協力し、「茶の間」を開設	<ul style="list-style-type: none"> ・「茶の間13コース」:老人クラブ(六和会)+婦人部+おたすけ隊が支援(月1回/町内会館)(新中浜町内会) ・「毎週火曜茶の間」:老人クラブ(明寿会)が中心となり毎週火曜日に自治会館で行い市社会福祉協議会より(地域交流活動助成事業交付申請)21,000円の助成金あり。(平和台自治会) ・金曜茶の間「喜楽会」:毎月金曜日に開催中(自治会館)高齢者間の親睦を図る。健康管理等話し合い等実施(西新町) ・月2回茶の間:賛同者を中心に立上げ定期開催中。組織に対し自治会より1万円/年の助成する(広通江) ・月1回茶の間「茶話会(さわかい)」:自由な発想で持ち回りでプレゼンを行う(上原団地) 	<ul style="list-style-type: none"> * 活発におこなっている自治会/町内会と全く行っていない所と格差がある。(行っていない所はリーダーがない) * 自治会館等が無い所(3自治会)をどうするかが課題 * 次年度はコミ協として地区内の老人クラブの組織化を検討したい。
○みんながあいさつする、笑顔で明るいまちづくりの推進	西内野小学校「なかよし会」を中心とした挨拶活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の通学時に各町内役員が道路に立ち挨拶を掛け合った。(全町内一週間実施した) 	<ul style="list-style-type: none"> * 今後も継続していきたいが、知らない人から声を掛けられた時むやみに受け答えはしないとの学校との指示あり。 * 役員は防犯パトロールチョッキを着用した。
○子どもから大人まで、住民が多く参加できる行事や活動を行い、交流と親睦を推進	コミ協活動としての盆踊り、餅つき大会の継続と地域の老人クラブ間連携強化 親子で楽しむスポーツ大会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・コミ協として毎年の恒例で実施し喜ばれている。 ・輪投げ大会実施(新中浜) ・ポーリング大会(西が丘) ・「輪投げ大会」:子供会、老人会、包括支援センター(赤塚)の協力で親子、老人世帯を対象に12月に開催 * 社会福祉協議会から年末助け合い事業で助成金受) ・地引綱引大会(上原団地) 	<ul style="list-style-type: none"> * 今後も継続していきたい。 * 今後も継続したい。 * ポーリングは参加者が多く場所の問題がある。(西が丘) * 子供の参加が少なく内容のマンネリ化への対応が必要 * 世代を超えた交流で親睦が保たれる。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H27)	成果・課題等
○災害時に要援護者を支援できる地域における体制づくり	自治会、町内会単位での支援体制の組織化	<ul style="list-style-type: none"> ・「訪問員おたすけ隊」:組織あり(新中浜) ・要援護者のマップ作成中、緊急情報セット配布(西新町) ・「災害時要援護者リスト」:市の名簿を基に各班長の業務として組織化済(広通江) ・「ゴミ出し支援事業」を自治会で開始(五十嵐中島) 	<ul style="list-style-type: none"> * 組織化している所としていない所の格差がある。 * 班長を中心に相談支援する。 ・「防災意識啓発の出前講座」「応急手当の出前講座」「ゴミ出し支援策検討会」を今後計画する(広通江)
○隣近所で声をかけあい、高齢者や子どもを見守りを推進	社協等の連携による見守りの実施(友愛訪問事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員が見守りを実施中(全自治会/町内会) ・「にこにこ訪問員見守り事業」第1木曜、第3木曜/月実施中(新中浜) 	<ul style="list-style-type: none"> * 高齢者数と民生員数のバランスが取れていない。 * 民生委員の任期満了後の後任者がいない。

○防犯パトロールとともに危険個所の点検を行い、地域の安全を確立	防犯パトロール、老人クラブと連携した高齢者交通安全教育の実施	・老人クラブで高齢者交通安全教育実施中(新中浜) ・通学路、危険個所での転倒防止柵を設置(西新町) ・月一回の町内パトロール実施(西が丘)	・「自転車の安全運転講習」・「オレオレ詐欺防止講習会」を要望あり(西新町) ・危険個所が発見できた。
---------------------------------	--------------------------------	---	---

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H27)	成果・課題等
○地域における一斉清掃や花を植える活動など、住みよく緑あふれる地域づくりの促進	緑化活動推進事業を活用した公園等の緑化	・緑化活動推進事業を実施中(新中浜) ・ひまわり公園にチューリップを植えた(ひまわり団地) ・公園に花苗、球根を植え定期的に散水を行っている。 (広通江)	* 各自治会/町内会共、公園の緑化推進は進んでいるが立ち木の成長に伴い、枝打ちが困難になる。(区に依頼)
○ごみの分別方法を定期的に確認し、ごみステーションの美化を促進	自治会、町内会でのクリーンにいがた推進制度の活用	・町内一斉清掃実施(西が丘) ・年3回定期的に側溝清掃実施、除草、伐採を敬老会、各班交替制で実施、ゴミST清掃は輪番制(広通江) ・クリーンにいがた推進員11名登録済(新中浜) ・ごみステーションの分別ごみの仕分けを定期的にチェック(ひまわり団地) ・ゴミ分別違反者を見つけた時は指導している(西新町) ・2箇所の公園内の雑草、枯葉清掃実施(4~11月の第二日曜日 輪番制(五十嵐中島) ・年2回町内一斉清掃実施、ごみST清掃は輪番制(上原団地)	* 簡易ゴミネットが紫外線等で劣化が早い。その都度役員が補修しているが軽量で強靱な製品開発を望む。 * 公園清掃中、蜂の巣があり刺された住民がでた。市の方で蜂の活動期に駆除をお願いしたい。(広通江・上原団地) * 町内以外の住民が夜間に車で来てゴミを捨てていく。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H27)	成果・課題等
○広報誌の発行や掲示板の設置により、地域情報の周知と共有促進	コミ協だよりや自治会、町内会だよりにより地域の情報を提供	・「新中浜だより」発行中(年6回)(新中浜) ・「西町だより」発行中(年3回)(西新町) ・広報誌の発行ないが月3回の回覧物に自治会からの情報を積極的に掲載(広通江) ・「西が丘かわら版」発行中(西が丘)	* 世帯数が多い自治会/町内会は広報紙を作るパワーがあるが殆どが情報源は回覧板、掲示板のみである。 * 若い世帯数が多く自治活動に興味を持ってくれない(西が丘)
○コミ協、自治会、町内会と民生委員・児童委員、各種団体などの情報交換の場をつくり、連携を強化	定期的に、夕映えの会など各種団体との情報交換を実施	・「ゆうえい会」の活動推進員として参加中(新中浜)(上新町)(西新町)(平和台)	* 各種イベントを実施している自治会/町内会と行っていない所と格差がある。(世帯数と子供数から来ている) * 区バスを利用(茶の間・婦人部・老人クラブ主催) * リーダがない所もある。
○町内・班での話し合いを活発にし、住民の地域活動への参加を促進	イベントの開催など地域活動の機会を提供	・町内会行事として新中浜まつり、餅つき大会、敬老会を実施(新中浜) ・施設見学、敬老会、六送会の実施(西新町)(新中浜) ・団地まつり、餅つき大会、新年会実施(上肌団地) ・自治会納涼祭実施(子供会が模擬店開設)(五十嵐中島) ・夏まつり実施(西が丘)	* 毎回20~30名の参加者で子どもたちを指導した。
○子どもといっしょに遊んだり、行動に参加したりするボランティアの確保	地域教育コーディネーターとの連携	・西内野小学校「西っ子広場」で昔の遊びに参加した。(新中浜) ・セフティースタッフが参加(西新町)	* 昔の遊びのバージョンアップを行う(コマ・ヨーヨーのみでは飽きられる。
○子どもの頃からボランティア活動に参加できる環境の整備	西内野小学校「西っ子広場」への参加	・セフティースタッフが参加(西新町) ・毎年20~30名参加した。(新中浜)	
	祭り、茶の間の会、寺子屋など、子どもが参加できる行事の実施	・なかよし会と連携し町内祭り、茶の間、寺子屋、クリスマス大会、餅つき大会(新中浜)	

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：コミュニティ中野小屋

平成28年6月28日作成

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○子どもからお年寄りまでが参加する多世代交流の場づくり ○隣近所同士の交流や助けあいの充実 ○老人会、婦人会などの活動の活発化	親子三代ふれあい会や瑞穂祭などの地域行事の継続	・親子三代ふれあい会、瑞穂祭の実施 ・老人クラブの活動は各自自治会内にとどまる傾向にあり連携と呼びかけている ・集会所は利用が活発で交流の場となっている	・高齢化が進む、親子三代ふれあい会への出演者が減少しつつある。但し参加者は増加している ・様々な知識・知恵を有している高齢者の協力が、地域をより維持し行く上で大切であり、さらに働きかけたい。
	集会所等を活用したお茶飲み場の開催		
	友愛訪問活動の活発化		
	買い物の手伝いなどの生活支援		
	各老人クラブの連携促進		

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○消防団活動の活性化 ○高齢者や子どもの見守り活動の推進 ○地域における小学生の放課後支援を充実 ○不審情報等の速やかな伝達	地域と民生委員・児童委員、消防団との連携した防災への取り組み、情報共有	・地域と学校との連携事業として防災活動の推進と実施(中学校教育を中心に実施し中子五は活動参加)	・避難所運営の円滑化、地域住民と小中学生の防災意識の共有と役割分担ができた ・スタッフメンバーをとり、登下校時の安全確保場所としての働き ・ふれあい、ひまわりと地域内だけでなく、スタッフとして協力を得ている。少子化の進行中でも利用者の増えがあり、地域にとっての大事は活動である。
	新聞販売店と連携した高齢者の見守り活動		
	学校と連携した交通安全街頭指導の実施		
	ふれあいスクールやひまわりクラブへの協力		
	セーフティスタッフ活動の強化		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○老人憩いの家(明和荘、楨尾荘)や集会所の活用 ○高齢者が外出し、交流できる場づくりの促進 ○各種サークル活動との連携 ○公共交通機関整備への働きかけ	健康教室、健康体操、ダンベル体操など健康づくり活動の実施	・健康教室など、公民館、保健センターと相談して実施(笑のヨガ) ・西川清掃隊の環境整備への取り組み	・畑作業などの都合で参加者が少ないのでどの層への呼びかけとメニューの工夫が必要 ・西川地区、生活環境への関心が高まり、小学生～高齢者まで取り組んでいる。一斉清掃日だけでなく、有志によるゴミ拾いは引き続き実施している。
	カラオケ大会などのイベントを実施		
	西川の清掃活動への積極的な参加を呼びかけ		
	内野四ツ角を経由する区バスの運行を要望		

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○学校や農協、福祉施設など各種団体との連携強化 ○自治会活動の活性化、情報発信強化 ○農業地帯であるため、後継者、担い手の育成	各種団体責任者の集いの開催	・各種団体責任者の集い、自治会長研修会 ・中野小屋中学校と二枚の小学校+地域住民で教育的な活動の場を設けて交流と学び ・学校田と昔ながらの農作業の指導	・各会の参加者の感想などの収集が必要 ・H27は映画「夢は牛のお医者さん」上映した。資金面で重い面がある ・箱川地区の神などの行事で交流する事で伝統の維持と活性化に働き、継続が重要。
	自治会長研修会の開催		
	農作業体験会の開催		

コミ協名：コミュニティ佐湊

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成 27 年 7 月 6 日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○学校開放や地域施設を活用し、地域住民の交流推進 ○高齢者や子どもたちの茶の間、居場所確保 ○地域活動グループの確保	学校やメイワサンピアとの連携	学校行事、僅か一部参加、マイワ施設利用 赤塚山荘の交流会、交流 神明さまの場とメリム公の交流等、協力の促進、向上をはかる、実行している	地域内の連帯感と意識、は 後、8月にさき野、四ツ郷屋、歴史 のある赤塚、木山地区の特色を、 活性化、盛り上げたい！
	ソフトボール大会など、スポーツ大会の開催		
	老人クラブ、婦人部等と協力した茶の間、居場所の開設		
	自治会・町内会の集会所、公民館・公会堂を有効活用		

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○防犯対策を検討 ○交通事故や犯罪増加のため、防犯灯、信号機、歩道など、施設整備と環境整備を拡充 ○被災者や避難者の受け入れ施設、住居の検討、確保	高齢者や子どもたちの見守り隊の実践	各地区に於いて、少々の差はあるが、 課題クリアの為に、スタッフを置いて、 学校、自治会、統一的に自治連、ジ ティ並とる子 消防団に対しては、自治会増成を支援し いて、組織として確立されている	実際に課題に対して実行している 金がかかるとか、は、 ボランティアも社会貢献と、 言は、 人の事、やるのは、 現実、 頼り
	夜間パトロールの実施		
	災害避難所マップの作成、配布		
	地元消防団との連携、消防団活動への後方支援		
	セーフティスタッフの体制強化		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○地域外の人のごみ捨てを防止する環境づくり ○自治会と学校で協力、連携したクリーンアップ活動の推進 ○高齢者の交通手段を検討 ○古くからの地域行事、慣習（慶弔や地元の確認）を通じてつながりや交流を促進 ○健康寿命をのばす予防事業などを展開	不法投棄、地域外の人のごみ捨てに対する地域での監視強化	クリーンデー、各地区の取り組み 状況には差がある 赤塚地区は、 中心にボランティア募集して活動 乗車利用率拡大が、 課題	課題の実行と解決は、 何事か、 成私奉公で、 心の、 の、 現状は、
	地域の老人クラブや親子で歩道等の環境整備		
	佐湊のクリーンアップ活動の継続		
	バス路線拡大の要望を継続		

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○広報活動の活発化による情報発信の充実 ○定期的に各種団体との情報交換を実施、連携の強化 ○赤塚・みずき野・四ツ郷屋の各地区から担い手を発掘、確保 ○今のつながり「向こう三軒両隣」＝地域ネットワークの継続	コミ協や自治会・町内会の広報紙による地域情報の発信	回覧と世帯毎の徹底、 情報系内と自治、町内会の連絡 赤塚等、 旧家が多く、 繋がり	広報紙の回覧、回覧と周知は、 班長を、 但し、 理解、 自治会、 町内の案内、 周知は、
	広報紙の全世帯配布（年4回）		
	コミ協の会議などで、地域の課題を話し合いながら、団体間の連携を強化		
	イベントの開催など地域活動の機会を提供し、またボランティア協力を募集		
	声かけなどの訪問先の情報整備（高齢者や要援護者など）		

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：坂井輪中学校区まちづくり協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成28年 6月 日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○地域包括ケアシステムの構築とその取り組みの推進 ・高齢者への見守り・支えあいネットワークに構築 ・高齢者の孤立・孤独死の防止 ・認知症対策の推進	自治会館・公民館等を利用し、地域の茶の間の開設	自治会長研修会において講師河田桂子氏迎え、「地域の茶の間」をテーマに意見交換を行った。	各自治会より積極的な意見が出され、意識の醸成は図られた。開設場所の設営、サポートする人材の育成が課題となった。
	さかい輪ふれあい収集事業	高齢化や核家族に伴い、家庭ごみの搬出が困難な世帯が増えており、協力業者（もぐら工房）に委託し、週1回以上ごみ収集を行っている。	登録世帯数559世帯、延べ利用回数3,481回/年と毎年利用者が増えている。今後の対応としては、協力業者を含め、地区自治会の協力を得ながら住民相互のコミュニティを図る。
	友愛訪問員の拡大	高齢者の方が住み慣れた地域で、安心して暮らせるように、三者合同研修会を通じて情報交換を行った。	地域の民生児童委員や友愛訪問員と協力を行い、地域関係者への働きかけを継続する
	介護予防リーダー研修 認知症などの問題解決プロジェクト結成	平成28年度から各自治会の福祉担当者を集め、年3回高齢者に関する講演を行うと共に、研修会を行った。	研修会のグループ討議では、高齢者に対する考え方、友愛訪問員、民生委員の役割が徐々にであるが明確になっている。今後も地域の茶の間開設を働き掛けると共に、地域の問題を把握し推進する。
○子育て支援の充実と地域子育てネットワークの構築	地域と学校との連携によるあいさつ運動の展開	地域の小中学校と連携し、年2回（6月、10月）あいさつ運動月間と位置づけて街頭に立哨しあいさつを交わす運動を展開した。	各学校の先生方の指導もあり、自分から挨拶のできなかった子どもたちが自然に挨拶できる様になった。挨拶運動が終わると少々挨拶が少なくなるので、継続して行い地域の絆を図る。
	親子の居場所プレーパークの実施	少子化による子ども同士での遊び、また経済状況等に伴い親子同士の遊び場が無くなった事により遊び場をつくり、遊びの創造力を身に付ける。	仲間同士の協力、大人が子どもに対する関心が深まった。地域における若手担い手の育成につなげる。
	子どもと高齢者とのふれあいの場作り		
○障がい児・者に対する地域支援の推進	福祉作業所製品の販路拡大支援		

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○交通安全運動の推進	小学校を対象とした交通安全教室の実施	大型トラック（積載量9t）を借用し、子供や高齢者をトラックに乗車させ、運転席からの死角を確認してもらった。	運転席からの死角に驚き、事故防止のための心構えを声に出すなど学習効果は大きかった。時間の経過により交通安全意識が薄れるため、交通安全教室を継続する。
	高齢者向けに反射材の配布		
	交通安全運動期間の積極的参加，街頭指導	「交通安全のぼり旗」を通学路及び生活道路に設置すると共に、春夏秋冬の各期に街頭指導を行った。	新潟西警察署管内の死亡事故「0の記録」に微力ながら貢献できた。のぼり旗の劣化はあるものの今後も継続する。
	道路等の交通安全点検事業	関係機関と合同で、通学路危険箇所の点検を実施した。	各自治会からの要望について、区役所、警察に伝え、理解が得られた。
	地域の安心安全・命を守ろう推進事業	(26年以降実施) 坂井輪中学校区内の交通安全を確保するため、安全の目印となる「のぼり旗」を設置した。	交通安全意識が高まり交通事故防止効果が得られた。今後も継続し、事故防止に繋げる。
○防災組織づくりと防火・防災訓練活動の推進	自主防災組織づくり支援事業	自治会長研修と防災訓練を行って防災組織の必要性和組織づくりの啓発を行った。	自治会単位ごとに地域防災の対応について少しずつであるが理解をしてもらっているように感じる。
	自主防災合同訓練・自治会単位防災訓練開催	防火防災及び自然災害等に対処するため、避難所運営/初期消火/濃煙体験/AED実施/炊出し訓練を行った。	自然災害等に備えるために多くの地域住民の参加者を得て、消火器/AED実施訓練を行うことによって防災に対する意識が高まった。
	自治会単位の防災マップ作り	自治会長研修会等で、防災マップ作りの啓発を行った。	取り組み状況が弱いと感じられる。
	坂井輪レスキュージュニアチーム育成講座	大小規模災害時に対応できる人材育成として、中学生を対象に新潟西消防署の指導のもとレスキュー育成講座を行った。	講座を受講した中学生は、災害訓練を体験し、万が一の時は訓練を生かしたい。防災に対する意識高揚とその重要性を高める。
	火災報知器の全戸取り付け推進	消防関係者から説明をしてもらい各自治会への全戸取り付の啓発をした。	火災報知器取り付け実績の状況確認は得られてない。
	高齢者に対する「火の用心」一声運動	平成28年度から各自治会の福祉担当者を集め、年3回高齢者に関する講演を行うと共に、研修会を行った。	研修会のグループ討議では、高齢者に対する考え方、友愛訪問員、民生委員の役割が徐々にであるが明確になっている。今後も地域の茶の間開設する中で、地域の問題を把握し推進する。
	災害時要援護者に対する支援活動		
○防犯ボランティア活動等の推進	西警察署との連携による振り込め詐欺・悪徳商法等の未然防止啓蒙活動の実施	寺尾駅、新大駅前の自転車盗難防止及び商業施設の車上狙いの防止パトロール及び防犯チラシを配布。更に、お年寄りを対象とした特殊詐欺防止に関する講習会を行った。	自転車盗難被害は減少した。防犯漫談、防犯マジックは楽しく防犯意識を高めることが出来た。防犯意識を高めるため節目節目で工夫を凝らす活動を継続する
	防犯巡回パトロールの実施		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況（H27）	成果・課題等
○地域と連携して地球環境の保全や、環境美化活動を推進	緑のカーテン植栽普及事業としてゴーヤを栽培し各家庭に配布	地球温暖化防止が叫ばれる昨今、二酸化炭素を吸収するゴーヤを植え、緑のカーテンを作り省エネと節電対策の一助とする活動を学校児童と共に行い、地域住民の環境意識を啓発する。	アンケート結果、節電が出来た、西日が遮られた、環境によし食べてよしの一石二鳥の利を得た等温暖防止の意識啓発が出来た。
	坂井輪を花で飾ろう推進事業	花のある豊かな生活環境の確保および花植えに於いて学童、保護者、住民の共同作業により地域コミュニティの意識を図る。	小中学生の参加者も多く、また、地域住民との共同作業によりコミュニティ意識が高まった。今後も幅広い年代から参加者を募り明るく楽しい生活環境を作る。
	堀などの泥上げ	西区一斉クリーンデーや環境美化活動への参加をしてもらうため、各自治会にPRを行った。	
	ゴミ不法投棄防止の看板設置		
	西区一斉クリーンデーへの参加	約半数以上の自治会の参加があり、普段は清掃のできない側溝の周りや道路上の草刈りを行う。	大人と子ども同士が一緒になって、作業することでこコミニュケーションが図られ、顔もおぼえられ有意義な作業であり、今後も継続する
○文化、スポーツの活性化	寺尾地下道に子どもの絵画を展示	地域の保育園、幼稚園、小学生の絵画を寺尾地下道に展示し、園児、学童の成長と絵画による触れ合いを行った。	地下道を利用する住民から子供たちの成長、また、絵画展示の保護者と提供者からは絵画制作の励みになっている。絵画展示を継続し地域内の環境美化を図る。
	家族交流・多世代間交流スポーツの普及事業	ターゲットバードゴルフ、グランドゴルフ等、ニュースポーツを紹介し、体験してもらった。	家族による参加が多数あり、交流が図られた。今後も他の事業に合わせて計画し、スポーツの普及に努める。
○健康づくりへの啓発活動	さかい輪健康づくりフェスタの開催	高齢者を対象に医療に頼ることのない健康な心身を維持することで、安心して暮らせる健康づくりの教室を行った。	参加者数も多くなり、また、その参加者からは2ヶ月に1回程度開催して欲しいとの希望もある。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○自治会同士の連携・協働・ネットワーク作りの推進	自治会長・役員研修会の実施	地域コミュニティ活動と各自治会の役割をテーマに「地域包括支援システム」「支え合いの仕組みづくり」の事例発表を行い、地域活動への積極的参加を促した。	各自治会に於ける諸課題を参考に意見交換を行い、その解決策の参考例とすることが出来た。各自治会長はじめ役員の意識の醸成と相互間の結束が求められる。
	三者合同研修会の実施	三者（友愛訪問員・民生委員・自治会役員）合同研修会に新潟医療福祉大学 青木准教授を講師に迎え、「認知症者への対応」「一人暮らしで手術後」買い物ができないを事例に、地域住民に何が出来るかグループワークを行った。	自治会役員・民生委員・友愛訪問員・行政は、どのような対応できるのかある程度周知できた。
	行政機関との情報意見交換会実施	毎年2月、5月に西区役所・西消防署・西警察署・小中学校関係者より年度内に実施する地区内の活動事業の報告をいただき、自治会活動との整合性を図る。	自治会役員、行政、その他関係団体との意見交換を行い、自治会役員の意識の醸成と地域活動への積極的参加を促すことが出来た。
	高齢者を支える担い手育成	地域包括ケアシステム導入に向け、地域内での体制整備が必要なことから中核的リーダー育成を行う。	前年度の研修会に比較し、参加者より多くの意見が出され、包括ケアシステムに関する理解と関心が深まった。高齢者との寄り合いの場所、またサポート人材の育成が急務となっている。
	高齢者支援シンポジウムの開催		
○コミュニティ活動の啓発	広報紙「さかい輪」とかわら版の発行	広報誌を頻繁に発行し、まちづくり協議会でやっている地域活動の感心と理解を深めてもらう。	まちづくり協議会の活動内容について関心と理解が深まり、各事業への参加が増えている。今後も広報活動を積極的に行い、地域住民の情報提供を得る。
	広報紙「大道」発行	中心的な役割を担う自治会長に対し、連合自治部活動の理解と啓発のため広報紙「大道」を各世帯に配布した。	各自治会長を含め地域住民にまちづくり協議会の活動の理解を深めると共に、地域課題等について促す効果があった。
	コミ協事業の周知活動		

【スケジュール】 ①4月下旬：コミ協宛て作成依頼 ②4月下旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」 コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成 28 年 6 月 29 日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○みんなが集まれる集会所の開設 ○地域での見守り体制を強化	空き家や空き部屋を複数の自治会で借り上げ、自治会館とする取り組みを強化	当まちづくり協議会は昨年7月より空き店舗対策事業を活用してまちづくりセンターを11月14日に開所した。4自治会共同の自治会館「あけぼの会館」もオープン、他に会館を運用する自治会も増加。各種会議、近隣自治会に解放、サークル活動も活発化した。	会議、サークルなど頻繁に開きやすくなり活用が期待される。特に子供達の会（育成部）の集まりがしやすく、イベントも多く開催され子供達の交流も深まり一緒に通学できるようになった。
	友愛訪問を実施する自治会の増加	当協議会では15の自治会で実行している。まちづくり協議会でもPRしているが、民生委員の活動が多い。自治会・ボランティアだけで取り組んでいる自治会もある。	高齢者の見守りが大きな目的、ボランティアを多く募り活動を充実したい。自治会から民生委員にお願いしている所もある。今後民生委員と話し合い、お互い協力して訪問できる事が望ましいと思う。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○明るい町内づくり ○下校時間帯の子どもの見守り活動を強化	町内パトロールを定期的実施	青パトの活動を勧める予定である。	地域で実行しているパトロールの実態など、意見交換する機会を増やし安心安全な地域になるよう取り組んでいきたい。
	防犯灯のLED化	100%完了した自治会もあるが、おおよそ70%くらいはLED化されている。	会計予算の少ない自治会は2~3年かかりそうだ。
	夜回り活動の実施	すでに8年間、5月~12月第2金曜日にメガホン、打子木を使い「戸締まり用心・火の用心」を発声しながら巡回している自治会もある。	パトロールの広報を継続して広めていきたい。
	子ども110番のメンテナンス	校区内の交番に整備を依頼。責任をもって登録先を巡回、見直すとのこと。	交番主体で実行するとの事。地域と協力して取り組んでほしい。成果を待ちたい。
	犬の散歩や花の水やりなど、普段の生活リズムの中で見守りを実施	犬のワンパトなど減少したが、普段の生活の中での見守りは継続中。	交通安全推進協議会が中心となり切替スタッフが増え安全につながっている。登下校の挨拶もしてくれる。広報を継続し見守りの活動を強化したい。

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○あいさつしやすい地域づくり ○高齢者の健康増進とコミュニケーションづくりを推進	老若男女問わずあいさつをする環境づくり	まちづくりセンター・4自治会の共同自治会館など集会所が増えて地域の人たちの繋がりが多くなり挨拶をしやすい環境になりつつある。	会館が増えて子供達が顔見知りになり一緒に通学できるようになった。子供達の方からすすんで挨拶してくれるようになった。
	元気塾を開催する自治会の増加（年2回程度）	坂井新町自治会など8年間継続している。他自治会でも開催している。まちづくりセンターでも元気塾・「らっくり」を開催。共同自治会館でも健康体操、健康麻雀など開催、賑わっている。他自治会館ではサークル活動なども盛んである。	健康への意識の向上に役立ち、コミュニケーション作りに役立っている。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○まちづくり協議会の事業を広報 ○まちづくり協議会の活性化	広報紙を年2回発行	目標通り今年度は2回発行した。	広報誌を通じて地域の方々に事業の理解を深めてもらう機会が増えた。前期・後期に分け内容が解りやすくなり充実した。
	自治会長研修会を開催	当まちづくり協議会が新体制になり年2回の自治会長会議が開催できた	行政とまちづくり協議会活動を理解してもらう機会が増加。更に自治会長同士の会話も増え、1年で交代する自治会長への啓蒙活動に役立っている。

【スケジュール】 ①4月下旬：コミ協宛て作成依頼 ②4月下旬~6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：東青山小学校区コミュニティ協議会

平成 年 月 日作成

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○学校の地域連携室や空き店舗、空き家等の活用による地域の拠点、集会所づくりの促進 ○町内祭りや子ども会行事の開催により、地域の活性化、多世代交流を促進	イオンコミュニティ広場の活用（地域の人たちが集う憩いの広場） ・絵手紙、絵画教室、折り紙体験等	未就園児親子の居場所の「東青山すくすく広場」「いこいの広場」「絵手紙の集い」絵画教室の「楽画季の会」「おもちゃ病院」の開催や、各自治会の総会・会議等に活用した。 第10回「東青山ふれあい祭り」を協賛し、支援した。 復活3回目の「東青山ふれあいもちつき大会」を開催 当地区自治会が「お茶の間サロン」開催場所として、イオンコミュニティ広場を活用	「東青山すくすく広場」は、原則月4回開催し延べ 1,400 名の親子が来場。「絵手紙の集い」「楽画季の会」では、秋に合同作品発表会を開催し地域の方約 200 名が来場。 「東青山ふれあい祭り」は、延べ参加者 3,000 名。当コミ協は「駄菓子屋」を担当した。 「東青山ふれあいもちつき大会」は、参加者 288 名。同時に、児童の健全育成を目的に「小学生、元気はつらつビンゴゲーム大会」を併催した。 当地区自治会が「お茶の間サロン」を月1回開催した。
	東青山ふれあい祭		
	東青山もちつき大会		
	お茶の間サロン		

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○向こう三軒両隣の交流を深め、地域による安否確認等の促進 ○夜間における安全対策の強化	防犯協・自主防災会との連携	東青山小学校区自主防災会及び東青山小学校と連携して、「第10回地域・小学校合同避難訓練」を実施 東青山小学校区防犯協会と連携して、防犯パトロールを実施 「校区内安心安全児童見守り隊」活動の支援をした。 非難マップ改訂版を再配布した。 各自治会により増設やLED灯に取り換え等をした。 各自治会により実施	「第10回地域・小学校合同避難訓練」を、参加者児童を含め 745 名で実施した。 防犯パトロールを年2回実施した。 地域・小学校合同避難訓練後、帰宅時の街頭指導をした。 BRT新交通システム開始にともない、東青山小学校区交通安全推進協議会・児童見守り隊と連携して交通安全の見守りを実施した。 非難マップ改訂版を再配布し、地域・小学校合同避難訓練時に活用についてPRを行った。
	防犯パトロールの実施		
	交通安全街頭指導の実施		
	地域安全マップの活用		
	防犯灯の増設		
	声かけ運動の実施		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○地域における環境美化活動など、地域活動の推進 ○車中心から歩行者中心のまちづくりへの転換 ○自転車歩行者道を活用した健康づくり	花いっぱい運動の実施（公園、道路等）	「まちの緑化運動」推進キャンペーンを実施。当地区自治会により「花いっぱい運動」を実施 各自治会により実施 「西区一斉クリーンデー」を実施 同時に「蚊の撲滅運動」を展開した。 「犬の糞対策」のキャンペーンを実施	「西区一斉クリーンデー」を参加者 160 名で実施した。 小針中学校生徒 16 名も地域貢献として参加した。
	古紙集団回収の実施		
	ゴミの不法投棄や犬のフン放置などに対する注意喚起看板の設置		
	健康ウォーキングの実施		

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○民生委員・児童委員と自治会との連携強化 ○回覧板、掲示板等の有効活用による広報活動の強化 ○コミ協、自治会役員のリベルアップ研修やボランティア講座の充実 ○子ども達や学生をはじめ、多くの人の力を取り入れ、地域活動を活性化	コミ協・自治会・民児協等の連携、地域合同情報交換会の実施	地域合同情報交換会実施 「コミ協だより」を発行 新潟市動物愛護センターより、新潟市協働事業「地域猫(のらねこ)対策」についての話や、当コミ協・小針青山公民館・小針コミ協の共催で「アクティブシニア・ゆとりのお父さんのための料理教室」を開催した。 自治会長連絡会の開催	地域合同情報交換会を6月に 57 名参加で実施した。 「コミ協だより」を、定期号4回・臨時号4回発行した。 「地域猫(のらねこ)対策」は、モデル事業として青山新町第2自治会により実施され「コミ協だより」にも掲載されました。 「アクティブシニア・ゆとりのお父さんのための料理教室」を参加者 25 名で開催
	「コミ協だより」を年4～6回発行		
	講演会、講習会の実施		
	掲示板の整備		
	自治会長連絡会議の開催（年2回）		

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別取り組み状況について

コミ協名:五十嵐小学校区コミュニティ協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助け合う地域づくり

平成 28 年 6月26日

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H27)	成果・課題等
○地域における居場所づくり ・集会所、寺尾中央公園(休憩所)、 コミュニティハウス、寺尾荘の活用など	地域の茶の間を増設	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会が1か所ずつ設置できるよう推進した。 コミュニティハウスで毎月、曜日を決め1回～2回開催している。 集会場としての物件を模索中です。 空き家を借りることが出来る、茶の間の開催準備に取り組んだ。 老人クラブと連携し、各サークル毎に各々が活動を開催した。 特に、健康麻雀教室は大盛況で大勢の人が参加していた。 	<ul style="list-style-type: none"> 二カ所、増設できた。 自治会の行事として定着。月1回～2回、15名～30名の参加があった。 町内会によっては、年々、参加者が減少してきている。 男性の参加及び新メンバーの開拓が必要。 保健婦、消防署員等、講師を招き開催したが、次回の内容が決められない。 4人で始めた健康麻雀教室が今では25人。自治会以外の人も参加し親睦を深めている。
	空き家の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 集会場の確保のため家主と交渉中。 借家を自治会集会場にするための準備を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家を借りることができた町内もあるが、なかなか難しい町内もある。 空き店舗を借り、1Fを茶の間、2Fを卓球場として使用している町内もある。 借家の管理方法、集会場の使い方を検討し茶の間を開催する。
	五十嵐フレンドスクール、ひまわりクラブ、 ふうせんクラブ、五十嵐スポーツ振興会 など各種団体と地域が協力して実施	<ul style="list-style-type: none"> 新潟シティマラソン大会に協力している。 	<ul style="list-style-type: none"> ランナーへの支援、応援は励ましとなり、大会成功の一助となったと思う。
	地域の祭りやサークル活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> 町内育成部と協力し各種のイベントを開催した。 地域の公園やコミュニティーハウスを利用し公園祭りや豆まきを行い三世代交流事業を実施した。 婦人会、子ども会が協力しあい「盆踊り大会」を実施した。 バーベキュー、餅つき大会を毎年、行い世代間交流を図った。 地域内の福祉施設と一緒に餅つき大会、敬老会を開催した。 東五十嵐夏祭りでは子ども櫓きぬたの御輿で町内を巡回した。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとにテーマを決め、行事のマナー化を防止する。 会場が遠く参加者が限られる。 交流事業終了後、子どもに限らず住民が互いに声を掛け合う様になった。 中断していた「盆踊り大会」が復活し、地域の活性化に繋がった。 バーベキュー大会、餅つき大会は約325人の参加があり、世代間交流の成果が大きかった。
	坂井輪まつりへの協力	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の管理に協力した。 交通安全協会西支部の要請に協力している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続し協力していきたい。

<基本目標2> 安心・安全暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H27)	成果・課題等
○近隣(向こう三軒両隣)における助け合いの関係づくり	あいさつ運動、声かけ運動の実施	<ul style="list-style-type: none"> 入学時や交通安全週間(街頭指導)に合わせ、通勤、通学者に声掛けを実施した。 「あいさつ」は当然の礼儀として常に実施している。 小学校の町内子供会に出席し町内の危険箇所を説明し、交通安全、あいさつ運動を推進した。 警察官同行で夜間防犯パトロールを4日間実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校、PTA、地域住民から感謝の言葉が寄せられた。 地域活動の意識づけを深めたい。 子ども達が自ら声を掛けてくれる様になり、親近感を抱いた。 あいさつ運動の「のぼり旗」を作り、運動の周知を図った。
	気づき運動(近所の様子への気配り)の実施	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者、一人暮らし、障がい者等の世帯を定期的に訪問した。(民生委員が同行するケースもある。) 訪問しないが、気になるケースは近隣で気配りしながら、見守活動に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の安否確認を実施した。 地域活動の協力者を時間をかけて育成したい。 訪問員が高齢化しているが、後継者の選出が難しい。 友愛訪問制度の啓蒙のため社協の講師を要請、了解を得て、町内回覧を行い参加者を取りまとめた後、休日を理由にキャンセルされ大変困った。 相互で事業内容を文書化し交換する必要がある。
	セーフティスタッフ活動(登下校時の見守り等)の活発化	<ul style="list-style-type: none"> スタッフへ継続活動を依頼した。 春、秋の交通安全運動で立哨し、児童への声掛けを実施した。 毎朝、3人のセーフティスタッフスタッフが小学校入口交差点で児童への交通指導と見守り活動を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が遠くから声を掛けてくれる様になり、頑張る勇気が湧いた。 小学校、PTA、地域住民から感謝の言葉が寄せられた。
	地域の安全マップの活用、情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 自治会全体の住宅地図を作り各世帯へ配布し、情報の共有を図った。 社協の「緊急情報キット」を配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> 転出、転入等の周知がスムーズにいかない。 情報の更新を適切に行うようフォローすることが必要。
	防災訓練への積極的な参加	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練は毎年1回実施。(福祉施設と合同開催の地区もある) 災害時、要支援者へ避難訓練の積極的参加を呼び掛けた。 年1回、応急処置対応及び情報伝達訓練を実施した。 自治会、防災会で防災ハンドブックを作成し全世帯へ配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災の士気が高まった。 今後も継続して実施する。 防災訓練の参加者の増加に努める。

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H27)	成果・課題等
○寺尾中央公園をはじめ、公共移設の有効活用	朝のラジオ体操、健康体操の実施	<ul style="list-style-type: none"> 中央公園を毎朝ラジオ体操、健康体操に、又、四季の花を見ながら散歩、ウォーキング等、多数が利用していた。 ハマナス公園の草取りを月2回実施し、「住民の憩いの場」に、夏休みはラジオ体操の会場にした。 年2回、地区内、2か所の公園を自治会全員(子どもを含む)で除草、清掃活動を行い、ラジオ体操会場にした。 商店「なんじゃ村」の駐車場を借りラジオ体操を実施した。 西総合スポーツセンターへ通う人もいた。 コミュニティハウスを積極的に利用し自治会活動を実施した。 新潟工業短期大学の校庭をお借りしラジオ体操を実施した。 健康づくり教室を開催し「住民の健康づくり」に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みラジオ体操は老・若・幼が集まり、にぎやかで、ほほえましかった。 ロコミ、健康志向が高まっているのか年々、参加者が多くなってきている ラジオ体操が上手にできない子どもが多く目立った。 小学校育成部と共催したためか、スムーズに実施できた。 自治会員全員での除草、清掃活動は町内交流の場ができ大変良かった。 健康に対する意識を再認識してもらえた。
	利用に当たったのルールづくり、環境整備(ボール遊びや自転車乗車など、禁止されている使用方法を可能とする時間帯を設定)	<ul style="list-style-type: none"> 広範囲の市民が利用する場所であるため検討中。 公園の花いっぱい活動に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央公園を多くの人が訪れ、活用できるよう努力する。又、日陰になる箇所の増設と、壊れている階段の修理を要望したい。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報交友とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H27)	成果・課題等
○自治会・民生委員・児童委員・学校・行政・社協などとの連携強化	定期的な連絡会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> コミ協の役員会を月1回、理事会(自治会長)を隔月1回開催した。 総会では区域の民生委員、保護司、商工振興会、各福祉団体等の参加をいただき開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会運営の円滑化に役立った。
	自治会単位(班、組などの小グループ)での話し合いの実施	<ul style="list-style-type: none"> 自治会の役員会を毎月、班長との合同会議を隔月に開催。 自治会の役員会に民生委員の出席を依頼し開催。 民生委員は自治会や防災会の役員をしており、情報の交換、共有が図られた。 年に3~4回、班内会議を開催し情報交換をしている。 班ごとに福祉支援員一人を設け、班内の見守り活動を行い、情報交換会を年3回~4回開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治・町内会運営に役立った。 近隣の見守り活動が定着してきている。 個人や家庭内の諸問題や情報のあり方など、難しい面がある。 班内会議の開催は、班ごとに温度差あり開催が難しい班がある。 自治会活動は班の活動が基本であり、相互の理解を深めるためにも、班会議を活発に行う必要がある。
	地域の広報誌発行	<ul style="list-style-type: none"> 町内だよりを年3回~6回発行し情報提供をしている。 町内だより、防災だよりを定期的に発行している。 総会、役員会の情報を文書で回覧している。 	<ul style="list-style-type: none"> 町内の状況(動き)が把握でき、隣り近所が声を掛けやすくなってきている。 町内だよりを発行していない町内もある。
	地域住民の知識、技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> パソコンに長けている人による、パソコン教室を開催。(お茶の間の一環として、毎月4回~5回開催している。) 「防災士」の養成に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章、表計算、年賀状等が出来るようになり皆が喜んで参加しています。 活動の機会をつくる必要がある。
	地域活動の狙い手の発掘	<ul style="list-style-type: none"> 諸行事に子どもから大人まで参加して頂き、お互いが「顔なじみ」となり「気心」を大切にするよう努めた。 次期役員就任依頼をした。 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員のなり手がなくて困っている。 町内役員を輪番制に選出するよう規約を改正した、後継者の発掘、育成が容易になった。

・茶の間の開催は、21自治会の内9自治会が開催している。

・茶の間を開催したいが集会場がない、コミュニティハウスは遠すぎ不便である。空き家に限らず開催場所を早く見つけたい。

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」 コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：真砂小学校区コミュニティ協議会

平成28年6月20日作成

＜基本目標1＞ 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○認知症の人を支えるしくみづくりの推進	認知症サポーター養成講座の開催	自治会単位で開催 (H27 松海が丘第二自治会)	28年度にコミ協福祉部会で開催予定
○女性の地域活動参加を促進	自治会役員等の女性登用	登用に努めたが現状維持	役員になろうとする者が少ない
○高齢者や障がい者の買い物支援の検討	向こう三軒両隣の助けあい活動	民生委員、自治会、隣人による安否確認を含め実施	引き続き実施
	支援組織(グループ)の立ち上げ	1自治会で「おたすけ隊」事業実施中	28年度にコミ協で人材センター設立予定
	地域の商店への働きかけ(宅配)	商店の対応状況を把握	引き続き把握と働きかけを実施

＜基本目標2＞ 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○安全な通学路の確保(防犯、交通安全)	子どもたちを気づかい見守る人を育成	育成部地域連絡会、PTA等の校区内巡視、セーフティスタッフによる見守りやコミ協安全・防犯部会での青パトによる巡回・防犯パトロールを実施	交通安全、防犯対策に成果を上げている。引き続き実施する
○自主防災活動の活性化	防災研修、活動交流の推進	各自治会自主防災会で防災訓練を実施	構成19自治会のうち18自治会で組織化。引き続き組織化を支援
	自主防災組織の立ち上げ(未組織の自治会)	自主防災会未組織2自治会のうち1自治会がH27に組織化	災害時要援護者支援計画の未策定自治会への支援
○防災に対応した生活道路の整備 ○空き家、空き地問題の対策検討	道路整備や空き家対策の行政への働きかけ	狹隘市道の拡幅や私道、歩道除雪の改善を市に要望中 空き地、空き家対策を市に要望中	引き続き要望。空き家については「地域の茶の間」活用視野
○除雪要援護世帯への支援	除雪ボランティアの組織づくり	自治会又は5人以上の組織で市助成。実施団体数件有る	組織化し成果を上げている団体もある。手続きの簡素化

＜基本目標3＞ 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○スポーツを通じた健康増進(介護予防を若い世代から)	健康増進体操等の講座を推進	コミ協スポーツ部会でスポーツ健康教室など開催	成果が期待されることから引き続き開催
	健康講座指導者の育成	明倫短期大学、福祉施設との連携を図った	28年度にコミ協で人材センターを設立予定
○高齢者の引きこもり対策	自治会単位で地域の茶の間を開設	地域の茶の間 H27 1か所開設、1か所閉所。3か所開設中	自治会単位の開設推進
	高齢者が集まって、運動や趣味活動、交流ができる場づくり	地域の社会文化活動の拠点とまちづくりセンターとしての役割を担うコミュニティハウスの建設を市に要望中	引き続き要望

＜基本目標4＞ みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○地域課題の把握	住民アンケートの実施	平成26年度に実施、それらを参考に「真砂地域活性化5か年計画(平成27～31年度)」を策定	活性化5か年計画の推進
	座談会の開催地域を増加		
○小・中学校、高校、大学や病院、福祉施設等と地域のネットワーク強化(多世代交流含む)	自治会と民生委員・児童委員の情報の共有化	民生委員との情報の共有を図り、自治会との連携を図った	引き続き情報の共有を図る
	地域と学校や病院、福祉施設等の共催事業の開催	小・中学校、明倫短期大学との情報交換など連携を図った	28年度にコミ協福祉部会で明倫短期大学の協力を得て「菌の健康」の講演を開催予定。コミ協だより刊行の継続
○地域の生活環境の改善	ゴミの出し方、ペットのマナー等のルールの徹底	「真砂小学校区コミ協だより」19号・20号を刊行し情報提供した 立て看板等で注意喚起、側溝清掃、海岸一斉清掃の実施	引き続き実施。飛砂対策の浜にんにく植栽、保安林の黒松植栽・保育も継続実施

【スケジュール】 ①4月下旬：コミ協宛て作成依頼 ②4月下旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：青山小学校区コミュニティ協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成28年 6月 20日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○交流拠点の充実 児童、障がい者、高齢者など地域住民の交流の場としての茶の間を充実	既存の茶の間との連携強化 有明福祉会館、青山コミュニティハウス、マナの家、個人宅など7か所	①有明福祉会館(なごみの部屋・月2)(らっくり・月1)②コミハ(さくら会・毎週)(関屋堀割町・月1)(青山さくら会・月1)(プランタン・月1)③マナの家(たまり場・週1)④他、自治会・個人宅等7か所・・・開催状況把握と順次広報紙に内容を掲載開始した	コミ協として活動内容や対象者等の把握だけでなく、地域の人々に情報発信や参加増加へつなげる組織としての課題を実感している
	新たな茶の間の開設に向けた活動の展開 空き家、空き店舗の活用	① 高齢者対象：浦山地区を対象にした茶の間「キンヨウカイ」発足 ② 赤ちゃんと母親を対象に月一回「おしゃべりカフェ」11月より開催 ③ 浦山自治協で開催計画の検討開始	① 月一回の開催で成果あり ② 毎月開催要望等あり、次年度も月一回の計画を立てた ③ 28年度から有明地区の「らっくり」を参考に計画予定
○日常生活における助けあい活動の強化	助けあい組織の確立	① 要援護者の自治会ごとの情報把握と支援体制づくり ② ほとんどの自治会で実施している ③ 友愛訪問世帯が増加している ④ ボランティアスタッフ・民生児童委員・婦人会等による訪問活動	新設の茶の間拡大と既存の茶の間の参加人数の増加 友愛訪問活動と自治会・包括支援センター・区保健師・民生児童委員・社会福祉協議会との連携
	地域に根差した活動の展開		

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○災害時における対応の強化	自治会、民児協などとの連携強化	自治会長・町内会長はコミ協内役員と兼務しており、民児協とは、福祉会館活動を含め普段時から連携を維持	今後も、有明・浦山の両自治協及び民児協との連携を軸とした展開が重要と認識している
	青山小学校との連携強化	青山小学校PTA及び青少年育成協議会とも、学校行事を含め連携の強化を維持	災害、防犯想定のみならず、ふれあいスクールや学校行事とのかかわりを更に持ってもらえるかが課題
	防災訓練の継続実施 有明自主防災会、浦山自主防災会	例年9月に、有明地区(青山小学校)・浦山地区(ふれあい公園)と会場は分かれるが、青山小学校と連携し防災訓練を実施している。	これからも継続していくが、今後中学生や高齢者(要援護者)や一人暮らしの参加をどのように仕掛けていくか、課題は多い
○交通安全活動の推進	通学路の安全確保	セーフティスタッフや各自治会のPTA父兄の通学時や退校時の安全指導と見守り活動	危険個所の対応は、都度の対応含めある程度出来ていると思われるが、登校時は車が多く、セーフティスタッフのみならず道路は気を抜けないところとの対応をしていきたい
○防犯活動の啓発	防犯・交通安全体制の拡充	防犯ポスターや交通安全週間の旗を掲げて啓蒙活動 集団下校訓練(青山小)への参加	各自治会単位の防犯体制が主体 コミ協組織として、出来る範囲の協力を継続していく
○日常の見守り活動の推進 認知症高齢者や幼児・児童などの見守り活動の充実	茶の間の充実と拡大	子育てママと乳幼児のための「おしゃべりカフェ」を開催 子育て支援パンフレットを作成(700部)	空き家対策を含め、身近でいつでもだれでも利用できるような地域の茶の間が理想であるが
	自治会、民児協、PTAなど地域組織団体との協力体制の強化	青山小学校のふれあいスクールや児童センターの児童の見守り活動は体制が出来ている	会長やスタッフの高齢化と民生児童委員を含め引き受けてくれる人材不足は全ての組織の課題である
	セーフティスタッフの活動推進	スタッフジャンパーや帽子等作成時の協力	人的協力体制は難しいが用具類充実に寄与できた
	友愛訪問活動への協力 取り組み自治会への協力拡大	上記記載内容と同じ	上記記載内容と同じ

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○有明福祉タウンや各福祉施設・医療機関との共生	施設及び地域防災訓練への参加協力	自主防災会主催の防災訓練にスピーカーやマイクまたは機等の側面支援	防災訓練の写真展や広報記事掲載で、例年どおり参加協力出来た
	福祉タウンとの連絡会、懇談会の開催	小針青山公民館との子育て共催事業の開催	3月に有明児童センターにて開催 未就園の子供とその保護者対象におやつ作り 多くのおや子連れで活況であった
	有明福祉会館の活用	青山コミュニティハウスが浦山地区にあり、有明地区自治協の活動拠点として、重要視している	福祉部検討会や福祉講演会等、福祉部中心に活用できて良かった。これからも連携強化していく。
	有明福祉タウン行事への参加協力	有明児童センターを含め、各行事への共催と後援	浦山は青山コミュニティハウス、有明は有明福祉タウンの拠点として今後も活用 行事については、これからも互助精神で
	有明ふれあい夏まつりの共同開催 有明福祉タウンとの合同行事	有明ふれあい夏まつりは有明保育園の建替え工事のため 27年度は休止	28年度は恒例行事として復活、協力していく
○地域交流のためのイベント開催	世代間交流事業への援助協力 そうめん流しの実施	児童センターの児童や有明タウンの高齢者主体に、8月3日に実施	参加者の活況の反面、 主催側の高齢化と準備面の負担増対策が課題
	有明地区ふれあいの集い、浦山地区ふれあいの集いの実施	有明地区：9月9日（水）有明園にて実施 浦山地区：9月14日（月）一富会館にて実施	有明地区は対象80歳から、浦山地区は75歳で実施したが、移動面や椅子に腰かけての希望多く、開催場所や参加年齢の再検討が課題として上がり、浦山地区は28年度から対象77歳以上と会場をイス席の新潟会館に変更することに決定
	環境整備活動への援助協力 閑屋分水清掃及び花文字活動など	5月30日（土）に花文字花壇作り 7月26日（日）信濃川クリーン作戦を開催	参加者は増加傾向であるが、自治会役員を中心とした人員が固定化しており、幅広い参加者（例：高齢者や障害者等）への呼びかけも必要と感じている

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○情報共有のための地域ネットワークづくり	施設の広報紙などの配布・回覧	有明自治会8、浦山自治会13あり、青山コミハに各自治会ごとの設置棚があり、配布回覧依頼は容易	近所付き合いのツールになればと期待している
	自治会、民児協、高齢者・障がい者団体などの地域団体をはじめ、有明福祉タウン、青山小学校、青山コミュニティハウス、コンビニ、郵便局、薬局、新聞販売店、牛乳販売業者などとの連携強化	地域包括ケアシステムづくりに向けての確認段階	地域包括ケアシステム（案）を作成し、自治会役員・福祉担当・民児委員・友愛訪問員・地域福祉活動関係者約65人参加の福祉関係者交流会が開催出来た これからのネットワーク作りや連携強化が課題である 浦山地区自治協で「いきいき健康づくりの集い」を7月から実施予定
○広報紙（情報紙）の発行	コミ協だよりの活用	地域の行事や青山小学校PTA、育成協の活動や自治会・町内会の動向などをタイムリーに年三回広報を発行し、小学校区全戸に配布	興味を持たれる紙面づくりと、作製段階のボランティア協力体制やスタッフの後継者づくりが課題
	掲示（各種店舗の掲示コーナーの活用）	地区図書室を兼ねている青山コミュニティハウスに催事の都度、廊下に写真を掲示 行事ポスター等は、福祉会館や商店に依頼	行事参加につながったらよいがと期待している 今後もタイムリーな広報活動を目指す

【スケジュール】 ①4月下旬：コミ協宛て作成依頼 ②4月下旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：小針小学校区コミュニティ協議会

＜基本目標1＞ 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成28年7月 日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○声かけや見守りの強化	隣近所と日頃のお付き合い	○各自治会の民生委員や友愛訪問員が実践している。	○各自治会の地域事情があるので、今後とも自治会に一任する。 ○各世代間交流等の行事は今後とも、継続し交流を図る。 ○各自治会の地域事情があるので、自治会に一任する。 ○各自治会集会場、小針まらびセンターの交流施設を提供しているが利用が少ない。 ○老人クラブの参加者が減少し結成し黄信号がいくつかある。
○困った時に「助けて」と言える地域づくり	友愛訪問の立ち上げと実践を推進	○各自治会の民生委員や友愛訪問員が実践している。	
○多世代交流の活性化	多世代が交流できる行事の開催	○「七夕まつり」「小針納涼祭」「新春おとし茶大会」「地域の茶いし小針」を南地区生活センターで開催中。	
○地域の問題や困りごと相談	アンケート、意見交換会の開催（自治会単位）	○各自治会ご対応	
○高齢者の交流の場を増やす	交流のための集会所確保 老人クラブの加入促進	○各自治会集会場、小針まらびセンターの交流施設を提供している。 ○各自治会に結成しているが一部クラブの活動実績が少ない	

＜基本目標2＞ 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○空き家や空き地の対策	空き家・空き地マップ作り	○自治会（ノ箇所）で市の「空き家見守り事業」に応募し実現に向けた取組中。	○「空き家見守り事業」の支援を受け、自治会集会場、地域の茶いし小針と施設
○路上駐車防止や交通安全の取り組み	危険道路等の指導	○小針児童会の登下校中、セーフティスタッフによる交通指導を実施中。	○セーフティスタッフの努力により、交通安全ゼロを実現している。
○地域防災力の強化	避難場所の周知と防災訓練の参加促進	○避難場所の周知と避難経路マップの作成と各自治会配布を実施。 ○地区内防災訓練年2回開催（5/6、避難訓練、9/2、小針地区合同訓練）	○避難経路マップを印刷配布し、周知された。防災訓練2回も体験することで防災意識が向上された。
○ゴミ出しマナー違反の減少と対策	ゴミ置き場の定期的な実態調査と指導 高齢者向けゴミ分別カレンダーを作成（行政へ提案）	○各自治会ご対応している。（クリーン推進推進センター） ○市配布のゴミカレンダーを各戸に配布しているが、高齢者向けは存在しない	○各自治会推進のクリーン推進推進センターを中心に活動し成果あり。 ○現行の市配布のゴミカレンダーで成果はあるが、高齢者向け作成検討が必要
○子ども達の遊び場の増設（屋内外施設）	公園の整備・充実を推進	○各自治会で公園を維持管理している。	○各自治会で適切に管理しているが、充実に向けた検討が必要

＜基本目標3＞ 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○みんながあいさつをする地域づくりの推進	積極的な声かけ・あいさつ運動は、子ども達と小・中学校と連携で実施	○小・中各校で指導中である（指導例など）	○小針小児童会は校内外でも努力している。中野では校内で実践しているが、校外では励行していない。中野では学校と連携し実践に向け
○お互いの得意なことを出し合い、交流し、仲間づくりができる場の開設	机、椅子があればできる施設（公民館、公園等）	○小針まらびセンター、各自治会集会所を開放している。	○各施設を開放しているが、利用が少ない。

＜基本目標4＞ みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○自治会、民生委員・児童委員、友愛訪問員、社協、包括支援センターと情報共有できるネットワークづくり	自治会に福祉部や友愛訪問制度を確立 適度なおせっかい	○自治会の大半が制度を確立している。 ○福祉部、友愛訪問員、老人クラブは、情報を共有し対応している。	○制度が確立されている自治会は成果が見られる。 ○各組織、制度確立の自治会は、各機関と情報共有している。
○地域のリーダーの人材育成	人材育成講座の開催	○各自治会共通の課題であるが、自治会に一任している	○特に人材育成はしていないが、互に協、自治会の課題である。
○災害時等に備えた情報の共有	避難所、避難経路の情報提供と連絡網づくり	○避難経路、避難所マップを印刷配布し情報提供すると共に自治会ご連携体制を確立している。	○防災対策は、避難所選定を除いてハード面では整備された。
○地域の結びつきを強化（絆づくり）	イベント参加の呼びかけ	○22協主催の多世代交流イベントを開催し地域強化に取り組んでいる	○地域連携、参加によるイベント開催で成果が出ている。

【スケジュール】 ①4月下旬：コミ協宛て作成依頼 ②4月下旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：黒崎南ふれあい協議会

＜基本目標1＞ 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成28年 6月30日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○だれもが気軽に参加できる機会の提供を推進 ○地域交流のきっかけづくりを推進	各地区の集会所や公民館などの活用	黒崎南まちづくりセンターを拠点に、ふれ協各自治会や各種団体の活動内容を周知・発信する資料づくりの場に活用したり、地域のお茶の間広場やふれ協輪投げ大会、枝豆の作付け収穫体験などの事業を実施している。	まちづくりセンター設置の印刷機・コピー機等を活用して各種団体の情報発信が活発化された結果、各団体の情報伝達が格段に向上して活性化が促進された。
	クリーン作戦、収穫祭、運動会、敬老会など、各種行事の活発化	西区一斉クリーン作戦、災害ボランティアセンター運営訓練、地域の運動会・防災訓練、農業まつりなどの各種行事を行い地域活性化を促進している。	拠点となるまちづくりセンターの活用が促進された事により各種会合、行事等が意向通りに開催できる利点が生じている。

＜基本目標2＞ 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○地域の高齢者を見守るため、隣近所で声の掛け合いを推進 ○子どもの見守り活動の推進	地域でのあいさつ運動の実施	当地域も年々高齢化が進んでいるが、農村地域で二世帯以上の同居が多い利点もある事から特に声掛け運動等は行っていない。	農村地域で高齢者でも自前の田畑を有しているため、家庭菜園等を行い元気で暮らしている高齢者が多い。
	まめっこクラブの活動を周知し、地域全体での見守りの実施	民生児童委員・木場交番等を含めた学校見守り隊を中心に活動している。	南小児童も安心して通学している。

＜基本目標3＞ 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○隣近所で協力し合う地域づくり	ゴミの分別方法やごみ出しルールの周知徹底	各自治会のクリーンにいがた推進員を中心に活動してルールの周知に努めている。	活動を通じて違反ゴミの減少が促進されてきている。
	高齢者のみの世帯の除雪作業を協力	農村地帯で多世代同居等の利点もあり、農家所有のトラクター除雪等の推進に努めている。	積雪時のトラクター除雪が進んでいるので高齢者からの意見要望等が少ない。

＜基本目標4＞ みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○自治会の活動の積極的な広報 ○高齢者を地域でささえ合う体制づくり	回覧板の活用	まちづくりセンターで地域の情報収集と伝達を促進する活動を実施している。	地域の情報を出来るだけ多く発信することが出来た。
	高齢者のみ世帯への声かけ、見守り活動	地域の自治会役員、民生児童委員等を通じて高齢者の見守りを実施している。	年々高齢者が増加している中で、当ふれ協では特に問題となる事例が少ない。

【スケジュール】 ①4月下旬：コミ協宛て作成依頼 ②4月下旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

いきいき西区ささえあいプラン 地域別（コミ協別）計画の取り組み状況

【地域の特性】

□の内容は変更なし

- 人口 4,071人 ⇒ 3,759人
- 世帯 1,270世帯 ⇒ 1,222世帯
- 14歳以下 403人(9.9人) ⇒ 346人(9.2人)
- 65歳以上 1,175人(28.9人) ⇒ 1,197人(31.8人)

☆ 地域別座談会の開催状況

⇒ 確認

【地域の現状と課題】

□の中の文言の確認

- ・高齢者世帯は、除雪車が通過した後の除雪が大変
- ・地区の敬老会があったら良い
- ・外で遊ぶ子供の姿をみなくなった。安心して遊べる場所があると良い
- ・近所同士でふれあう機会がなくなっている
- ・ゴミ出しの方法が変わり、良くなった面もあるが、マナー違反も見受けられる

☆ 地域で行われている主な取り組みの紹介

【茶豆ふれあいライン緑化推進事業】

⇒ 茶豆ふれあいラインの花苗育成と沿線路肩部の草刈り作業を行い、地域の潤いを促進している。

【黒崎南小学校伝統芸能育成事業】

⇒ 各地区の伝統芸能を黒崎南小児童が継承・発展させて活性化を促進する。

【生活環境関連施設見学会】

⇒ 生活に密着している施設の見学会を開催して生活環境の重要性を認識する。

【輪投げ大会】

⇒ 運動不足解消と健康増進並びに参加各チームの親睦と融和を促進する。

【お茶の間広場事業】

⇒ ふれ協地域住民を対象に、寸劇・講演会等を開催して地域の活性化を促進する。

【黒崎南観光史跡めぐり事業】

⇒ ふれ協内に点在する史跡等の観光資源を広く周知し、教育・文化活動を広範囲に交流と連携を促して歴史的・文化的遺産を紹介していく。

☆ 基本目標と行動目標、具体的な取り組み

⇒ 訂正なし

☆ 検証方法

⇒ 訂正なし

コミ協名：大野校区ふれあい協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成28年6月29日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○自治会・町内会が中心となり世代を超えた人たちが集える場を開設 ○サークルや団体同士が交流できる行事の実施 ○自治会内の有志やサークル活動などを自治会、町内会で支援する仕組みづくり ○近所同士のあいさつや声かけの活性化	餅つき大会、納涼祭、盆踊り大会、賽の神などの地域行事の開催	地域行事の開催は各自治会とも活発に実施している。	餅つき大会、納涼祭は、子どもから高齢者まで多数参加して、地域のコミュニケーションの場となる。 老人会が中心となりゲートボールの練習からへお茶のみ仲間づくりへと広がっている。
	お茶の間サロンの増設		

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○子どもや高齢者の見守り活動の推進 ○民生委員・児童委員、自治会・町内会における要援護者情報の把握の促進 ○自主防災組織の立ち上げ、強化、定期的な会合などによる防災意識の醸成	学校と連携したあいさつ運動の実施	高齢者の見守り活動の推進 登下校の安全指導 11回実施 入学式後は、学校送迎へ行く(5日間)防災、避難訓練の実施 年1回	民生委員は、各自治会に配置して欲しい。 民生委員不在の自治会がある。(要望) } 継続
	登下校時の安全パトロール、交通安全指導の実施		
	防災訓練、避難訓練の実施		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○地域における生きがいづくり、健康づくり活動の推進 ○自治会・町内会が中心となって、地域環境の美化運動などを促進	健康講座、健康体操教室の開催	高齢者を対象にした健康づくり講座の開催 年1回 スポーツ振興会、ふれあいの共催で年2回実施 地域包括支援センターと共催し、健康教室開催 通学路を中心に清掃活動を実施。危険箇所点検 ランニングロードの清掃(毎年実施)	年間事業として定着、毎年実施 子ども会、老人会の協力のもと成果をあげている。 ゴみは年々減少してきている。
	老人憩いの家の活用促進		
	公園や空き地、道路(側溝)などの清掃活動、美化運動(花植えなど)の実施		

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○自治会・町内会の広報活動を活発にし、地域行事の宣伝を強化 ○区役所や区社協、地域の各種団体などと情報交換を行い、連携を促進 ○自治会・町内会が主体となり、担い手の発掘・育成を促進 ○障がいがある人でも地域活動などに参加できるように環境づくり	ふれ協だよりの発行	} 広報誌を作成 全戸配布 } 各事業のお知らせ 等	これからの課題として!! 提出にあたり 総論としては、ふれ協会会議を 小やし問題を討論する必要 を強く感じました。
	回覧板等の有効活用		
	自治会・町内会と民生委員・児童委員との情報共有	スポーツ振興会と協力 学校へ登録して活動	
	PTAと連携した地域全体での子どもの健全育成		
	個人の特技、技術を活かしたボランティア活動		

【スケジュール】 ①4月下旬：コミ協宛て作成依頼 ②4月下旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：立仏校区ふれあい協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成 年 月 日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○立仏小ワンダーランドに、地域の高齢者からの参加を促進 ○高齢者の活動の中で、子どもたちも参加できるイベントを実施 ○親子の居場所づくりの推進 ○集会所、公民館、公園などを気軽に利用できるようにし、地域住民の憩いの場として有効活用 ○清掃活動等への参加を多くの人に呼びかけ、地域のふれあいの場として活用	立仏ふなっ子の活動	毎月1～4月曜日 AM10:00～12:00開催	21年度 保護者 226名 子ども 270名参加
	立仏小ワンダーランド事業	毎週月・水・土曜日開催 平日 FM 3:00～16:20 土曜日 AM 9:00～11:20	21年度参加人数 3781名 1年生957名 2年生946名 3年生694名 4年生267名 5年生281名 6年生136名
	地域の茶の間事業		
	地域の公園清掃等	地域の公園清掃は定期的に行っている。	確実に実施されている。
	あいさつ運動を地域全体で推進	立仏小学校で指導されており各自で実施している。	特に小学生は積極的にあいさつしている。
	西区一斉クリーンデーへの積極的な参加	毎年8月の第一日曜日に実施している	21年度 295名参加 各自治会とも積極的に参加しており年々参加者が増えている

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○各自が隣近所とのコミュニケーションを密にし、特に高齢者や子どもたちへの声掛けを積極的に実施 ○セーフティスタッフの増員を図り、児童の安全を推進 ○年間を通じて夜回りができるような体制づくりを協働で推進 ○大人も子どもも防災意識の醸成を促進	通学時交通指導の実施	交通安全推進員による毎月10日登校時街頭指導及び子ども見まわり隊による毎日の登校時の交通指導見守り。	幸いに事故なく長期実施の成果と想います。
	防犯灯の点検や不法投棄の見回り	生活環境部会による夜間巡視 7月29日 11月30日	パイルスタンプル外不良蛍光灯 取替
	生活環境部会による定期的な点検活動	交通安全講習会 11月14日	
	総合防災訓練、あそぼうさいの実施	遊びながら学ぶ あそぼうさい勉強会 6月20日 避難所運営・避難訓練 9月6日	135名参加 32名参加

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○高齢者等の「見守り」推進 ○生涯学習の推進 ○遊歩道の利用促進	友愛訪問、声掛け活動等の推進	民生委員児童委員と地域の老人会等で行っている	立仏校区で民生委員児童委員連帯委員会 8名
	施設めぐりや健康教室等の実施	生涯学習部会による動く市政教室 6月12日 健康福祉部会によるさそが健康体操 7月4日 毎週水曜日 9月17日	新幹線駅ステーション、天寿園化 28名参加 23名参加 22名参加
	遊歩道を利用したウォーキング等のイベント		

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○地域住民が自治会の活動、行事に積極的に参加し、住民同士のコミュニケーションを深めて情報の共有を促進 ○昼間在宅者による情報共有や連携の仕組みづくりの推進 ○若い世代や子どもたちに積極的に働きかけ、早い時期からの地域活動、福祉活動への参加促進 ○自治会役員などへの積極的な女生登用。また女性からも積極的に参画できる雰囲気づくり	幅広い年代層を対象とした、餅つき大会等の交流イベントへの企画・実施、参加呼び掛け	教育委員会より ソフトボール大会 7月10日 25日 8月10日 8日 キックベース大会 6月28日 地域対抗ソフトボール大会 10月25日 延西子作り 9月13日	36名参加 中止 34名参加 2名参加
		各自治会ご計画 自発 パルコ大会・夏祭り会・賞の神・餅つき大会	各自治会ご計画で準備され親しく親睦をとっている

【スケジュール】 ①4月下旬：コミ協宛て作成依頼 ②4月下旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：山田校区ふれあい協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成29年6月20日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○子どもや高齢者、地域の人たちの居場所や地域集会の場として、学校施設や公民館、憩いの家、空き家などを有効活用（使い勝手のよい利用） ○自治会ごとに高齢者、子どもが気軽に参加できる場所を確保（一部の地域では毎週木曜にいきいきサロンを開催）	既存サロンの継続と、新たなサロン（多世代交流や高齢者対象）の立ち上げ 老人会や子育て世代（親子）の協力を得て実施	<ul style="list-style-type: none"> 一部の地域地域では老人会で毎週木曜日にいきいきサロンを開催 ふれあいチャレンジカップ 自治会で9月に敬老を祝う会を開いている 	<ul style="list-style-type: none"> 会話を通してささえあい、助け合いの精神が増す 児童は大会を励みに腕を磨き、楽しみにしており成果があった スナック会場で話がはずみ、またカラオケで元気を出した

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○空き家とその周辺環境の整備を検討 ○地域見守り隊を結成し、危険箇所など地域の定期的な見回りを強化 ○自治会・町内会の広報活動の強化により、防犯、防災意識の啓発促進	自治会・町内会が中心となって継続 防災、救護訓練（要援護者マップ等利用）の継続実施 避難完了の目印の設置などの協議、検討 セーフティスタッフを随時募集し、体制を強化	<ul style="list-style-type: none"> 自治会・町内会が中心となって継続 防災、援護訓練（要援護者マップを作成使用） セーフティスタッフ体制強化 	<ul style="list-style-type: none"> 黄色いハンカチで要援護者との連絡確認、消防団を講師に招き効果大訓練日が学校行事と重なり、参加児童数が少ない

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題 (H27)
○自治会・町内会が中心となって、ごみ出しルールの意識向上や不法投棄の防止を強化 ○クリーンアップ活動を持続的、計画的に実施 ○公園で子どもたちが遊べる環境を検討	ごみ分別講座の開催 月1回程度、自治会・町内会内の点検、清掃を実施	「ふれあい健康教室」を毎年2月に柳作公民館で開催 健康福祉事業・四校区ふれあい協 ごみ分別を自治会で徹底・周知 自治会の中の班単位でごみステーションの清掃 「西区一斉クリーンデー」に参加 けやき公園周辺クリーンデー 山田寿会では山田八幡宮周辺の除草・清掃等	<ul style="list-style-type: none"> 黒崎地域保健福祉センター職員を講師に招き有意義な教室だった 三流亭楽々さんを講師に招き、笑って、健康に良い あきかん、紙類の資源ごみの回収は自治会の収入源となり力を入れる 地域をあげての活動で260名の参加があり、環境美化に効果があった 地域住民の福祉活動にも効果があった 清掃活動はもちろんのこと、会員の会話も重要です

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H27)	成果・課題等
○自治会・町内会における地域の課題や情報の周知と農村部との連携強化 ○子育て世代、若い世代とのコミュニケーションを構築し、地域の文化、取り組みなどを次世代に継承 ○様々なボランティアに関わる人材の発掘と社会参加 ○見守り、支えあい活動などの体制づくり	地域の子供祭りなどへの参加 ボランティアに関する情報提供を推進 高齢者の孤立、悩みに対する相談支援者などを自治会・町内会で協議検討し、相談会を開催	<ul style="list-style-type: none"> 紙芝居事業・終戦直後の「山田飛行場」 山田校区の歴史考察・平島川越波切御名号 地域芸能保存事業 PTAバザー 「動く市政教室」に参加 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史をわかりやすく学習できた 小学生が太鼓、樽、笛を新潟祭り、黒崎祭りで発表。山田地区独自の芸能となるよう模索 文化祭の中で多くの人が集まり、地域と児童の交流の場となった 住民の環境改善意識と、知識の向上を図り、有意義でした

【スケジュール】 ①4月下旬：コミ協宛て作成依頼 ②4月下旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告